

# 中3 そろばん10段3冠

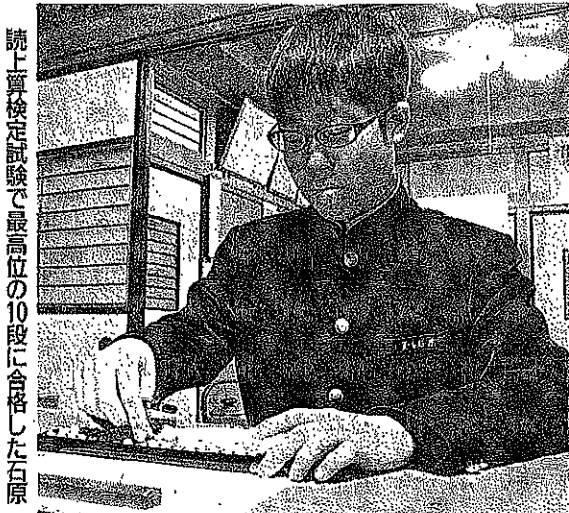
## 笛吹の石原さん 県内初の快挙 「より高みを目指したい」

山梨大付属中3年の石原広都さん(11)が、吹奏楽部顧問の指導で、日本珠算連盟主催の読上算検定試験で、最高位の10段に合格した。これまでに暗算検定試験とシラッシュ暗算検定試験(いずれも同連盟主催)でも10段に合格している。3冠を達成した。同連盟実務部によると、三つの検定で10段に合格したのは県内で初めてという。

〈登井 豊彦〉

石原さんは両親に勧められ、5歳の時から同市八代町北の萩原珠算塾(渡辺清美塾長)でそろばんを始めた。今も週1回塾に通い、ほかの日も最低30分はそろばんに触れることを心掛けているという。

読上算検定試験は、高速で読み上げられた10個の数字を素早く計算する。最大で16桁



読上算検定試験で最高位の10段に合格した石原

中学1年で9段に合格した。その後は10段に6回挑戦したが、あと一歩のところで合格を逃していた。そのため練習では、本書より速い数字の読み上げを聞き、素早くそろばんをはじけるよう訓練。昨年12月の試験で見事合格した。石原さんは「中学生のうち10段に合格しなかったのが達成感があった」と話す。

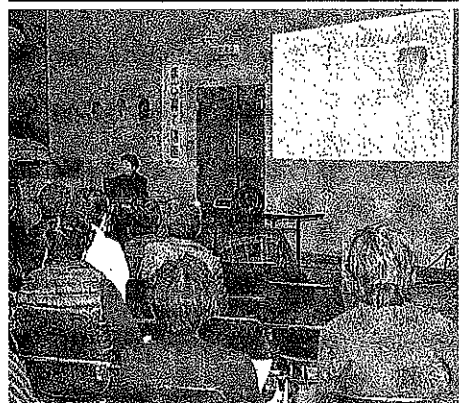
## 郷 孫育ての今を紹介

市川三郷 愛育班 祖父母世代に講座

市川三郷町市川地区愛育班(青沼親子班長)は20日、市川大門町民会館で「まご育て講座」を開き、祖父母世代向けに最近の子育ての方法を紹介した。

同班は、乳児健診や町が開く離乳食教室で、預かった子どもの世話などを担当している。育児の方法や考え方が昔と今では違うことも多いことから、祖父母世代の班員に状況を伝え、子育てにおける役割を再認識してもらおうと企画した。

県助産師会に講師を依頼。



大層講師の名取初美教授から話を聞いた。名取教授は、今は離乳食として薄めた果汁を飲ませることを勧めている。

同連盟主催の検定試験は全部で五つあり、石原さんは読上算を含めて三つで最高位の10段に合格している。石原さんを指導する渡辺塾長は「二つの検定で10段に合格するだけでも難しい。この結果は本人が努力を続けたたまもの」と激励する。

今後は残りの「珠算」と「読上算」の検定試験でも、10段を目指すといい。石原さんは「そろばんを通じて、計算力だけでなく忍耐力や集中力も身に付いた。これからはそろばんと向き合い、より高みを目指したい」と話している。

とほせず、入浴後にさゆを与え、おむつ交換も丁寧に行う。パウンサーと呼ばれる乳児の動きに合わせて揺れるベビーカーが流通していることなどを紹介。「近年の育児の様子を知り、父母をサポートしてほしい」と呼び掛けた。

市川地区愛育班が開いた「まご育て講座」に市川三郷・市川大門

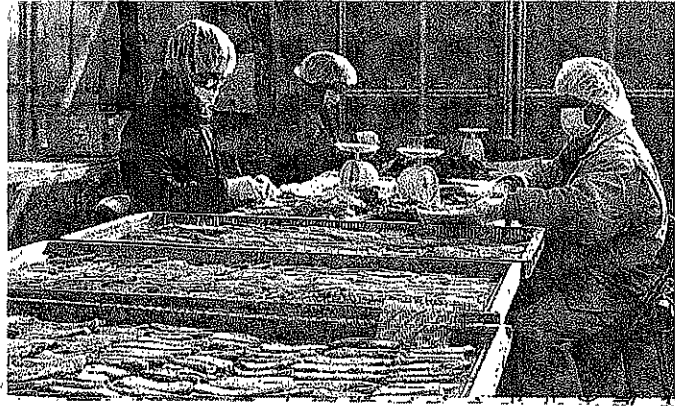
## 森山良子さんのコンサート満喫

「森山良子コンサート」(甲府)

## 甘い仕上がり 干しいも最盛期

北杜市白州町鳥原で、干しいもの出荷が大詰めを迎えている。同所の農事組合法人△白州鳥原平組合」のヒールハウスでは、薄く切った干しいもは、約15トンを切った。今冬は

約15トンを切った。今冬は



## 退職公務員ら制作 写真や俳句...60点

県退職公務員連盟 藤崎支部

1月31日の山梨県民会館(甲府)で開かれた「森山良子コンサート」(甲府)

約15トンを切った。今冬は

約15トンを切った。今冬は

約15トンを切った。今冬は

県退職公務員連盟 藤崎支部